

ウツクシマツ情報局



令和6年度 第3号

ウツクシマツ自生地内にドローンを使って病虫害対策の薬剤散布をしました

6月17日（月曜日）に平松のウツクシマツ自生地内に病虫害対策として薬剤散布（2回目）を実施しました。

前回（5月30日）は地上から薬剤散布を実施し、薬剤の効果期間が切れる前に2回目を実施する必要があったため、ドローンを利用した空中散布により実施しました。

以前は空中散布の方法としては、ヘリコプターによる散布方法でしたが、広範囲に薬剤をまくことになり、周辺の土地や民家にも影響する可能性がありますでしたが、ドローンを使用した場合は、それぞれのマツに近い位置からまくことができるため、効率的に散布することができます。

ドローン散布は年々技術の向上等により、以前より安価に施工できるようになったことから、2回目の散布についてはドローンを使用して散布しました。

ドローン散布の準備として、まず測量用のドローンを飛行させ、ウツクシマツ自生地上空から自生地を空撮し、その空撮データをパソコンに取り込み、そのデータをもとに、飛行ルートを決めます。

その後散布用ドローンに薬剤を入れて飛行させ、飛行ルートに沿って薬剤を散布します。散布の際にはドローンが樹木の高低に応じて、適切な高さから散布をします。

地上散布では人力作業でまくため、均一にまくことができず、また、薬剤も多量に必要となることから作業時間も長くなりますが、ドローンによる空中散布であれば、薬剤を均一にまくことができるうえ、作業時間も比較的短時間で完了できます。

松枯れ対策をしても、松枯れ被害をなくすことは困難であり、この空中散布が効果的かどうかについては、その効果を明確に確認することは難しいですが、今後も松枯れ被害を少なくするための取り組みを進めます。



【ドローン空中散布の流れ】



① 測量用ドローンを準備する



② 測量用ドローンで空撮する



③ 飛行ルートを決める



④ 散布用ドローンを準備する



⑤ ドローンで空中から散布する



⑥ 【薬剤散布の様子】